



SAIE かわら版

国籍を超え、相互理解を深め、「つながり・きずな」を大切に

30
YEARS
Anniversary

SAIE主催
イベント

参加者募集！

国際理解講座2023 多民族国家・インドネシアとは？



首都移転で話題になっているインドネシア。日本と同じ島国で豊かな自然に恵まれ様々な伝統文化が受け継がれてきました。人々の暮らしや地域の特色、民族の多様性などを知り、新たな魅力を発見しませんか？

日程：11月16日(木)午後2時～3時半

場所：コミュニティプラザ会議室1・2

定員：25名

参加費：無料

申込：協会まで電話・メールで受付



～講師からのメッセージ～

私は NICHOLAS YANGSEN と申します。現在、関西大学の化学生命工学部で学んでいます。インドネシア出身で、2019年7月に日本にきました。今年は22歳になります。趣味はチェスとカラオケで、いつも新しい戦術や歌を学ぶことが好きです。家族は5人で、お互いを支え合っています。現在はロータリー米山奨学生として活動しており、私の世話クラブは摂津ロータリーです。どうぞよろしくお願ひします。

パネルディスカッション〈予告〉

特別非営利法人とんだばやし国際交流協会の北川知子さんに基調講演として、国際交流協会の特徴と取り組みについてお話ししていただきます。その後、市職員や教員、企業、商工会などの方々によるパネルディスカッションを行います。

日程：2024年2月1日(木)午後2時～

場所：コミュニティプラザコンベンションホール

参加費：無料

テーマ：外国人が住みやすい街づくり

※詳細は次号でお知らせします。

摂津市の外国人のみなさんへ〈参加無料〉

いっしょにスポーツしながら交流しましょう！

ヨガ、ダンス、えいご、おやこうどうあそ親子運動遊びなど、24のプログラムにさんか参加できます。きょうみ興味のある人はひと気軽にきがる連絡ください。れんらく

日程：2024年3月31日(日)まで

場所：NPO法人せつぷブルーウィングスのQRコードより

対象：外国にルーツのある摂津市在住、在勤、在学の方

定員：1プログラムにつき、5名

申込：NPO法人せつぷブルーウィングス事務所

TEL：072-665-6139

E-mail：settsusports@gmail.com



〈結果報告〉皆様のおかげで、10月29日に30周年記念式典・祝賀会を無事に終えました。

4月に30周年記念冊子を発行予定です。詳細はそちらで報告いたします。

SAIE主催
イベント

参加者募集！

～多文化共生社会に向けて～ “外国にルーツのある子どもたち”と 共に生きる社会を創りませんか

日程：2024年2月13日、20日、27日(火)

午後1時半～3時(全3回)

場所：コミュニティプラザ会議室1・2

定員：25名

参加費：無料

申込：協会まで電話・メールで受付(1回のみ受講可)

2/13
(火)

NPO 法人の活動を知ろう!～NPO 法人おおさかこども多文化センター(オコタック)の活動や理念～濱名猛志さん(オコタック理事長)

2/20
(火)

オコタックの具体的取り組みから活動のヒントをつかもう!～絵本を“かけはし”にした多文化を知る活動って?～梨木亜紀さん(オコタックスタッフ)

2/27
(火)

全体総括 & 子どもの日本語学習支援について～活動の幅を広げてみませんか?～安田乙世さん(日本語教育支援グループことのは副理事長、オコタック前理事)

イベント報告

SAIE30周年とJOCA大阪5周年の 共催事業「ごちゃませ祭」への出展報告

開催日：9月24日(日) 午前11時～午後4時

開催場所：JOCA大阪

協会ブース参加者：約150名(うち、外国人参加者約27名)

9月24日(日)に、正雀のJOCA大阪事務所で
行われた「ごちゃませ祭」に、SAIE30周年事業の
一環として参加しました。JOCA大阪は、マジック
ショーや素人名人会、軽食と飲み物などのアトラク
ションが中心。一方の協会は、活動紹介という硬い
パネル展示で、やる前はミスマッチの感が否めませ
んでした。

しかし蓋を開けてみると、当協会ブースまで足を
運んでくれたのは約150名、家族連れの方も多く
大盛況でした。JOCA大阪のアドバイスもあり、ク
イズや参加賞の缶バッジを準備したことも功を奏し
たと思います。大阪学院大学内にあるCETアカデ
ミックプログラムの留学生が21名、レインボーラ
ーニングセンターの方6名が参加してくれ、国際色
が加わったことも良かったと感じました。

また、イベント準備を通しJOCA大阪の方と親し
くなれたことも収穫でした。イベント当日は協会事
務局や日本語ボランティアの方々が多く参加され、
日頃できない雑談の機会にもなり、とても楽しい一
日になりました。関係者の皆さま、本当にお疲れ様
でした！(理事 下川)

JICA講演会

千の丘の国 -ルワンダでの協力隊活動-



講師：由地 一樹さん(公益社団法人 青年海外協力協会 JOCA 大阪)

開催日：7月25日(火) 午後1時半～3時

開催場所：コミュニティプラザ会議室 3・4

参加者：18名

ルワンダって
どんな国？

- 首都：キガリ
- 面積：26,300 km² (四国の1.4倍)
- 人口：1300万人、
- 言語：キニヤ、ルワンダ語、英語、フランス語、
スワヒリ語
- 日本からの距離は約12,000km、20時間。
- 主食は米。
- バスカードがあり、チャージして乗る。
- 義務教育：小学校6年間、中学校3年間。
国家試験に合格しないと進級できない。
- 女性の国会議員の割合62%(世界1位)。
大虐殺があったため、女性が回さないといけな
いという現実もある。

学習者の感想

- ルワンダの大虐殺について、ニュースで見る程度しか知らな
かった。実際どうして起こったのか、どのようなものだったの
かは話を聞いてみないと分からない。一番驚いたのは、国際社
会の反応がやはり自国の利益を一番考えているのだという事
です。現在、ロシアとウクライナの戦争も、それ以外の国の(日
本を含め)利害が戦争を長引かせているのかと考えさせられた。
- 数年前にホテルの映画を見たのですが、今回の講演を聞いた
後だったら違った目で見れたと思います。もう一度、映画を見
たいと思いました。産業で農業(コーヒー)が主らしいですが、
地球温暖化できびしい状態になるかもというニュースを見た
ことがあります。頑張ってください。



30
YEARS
Anniversary

クイズ



quiz

Q1. 日本に住んでいる外国人の数は？

- ①約10万人 ②約100万人 ③約300万人

Q2. 摂津市に住んでいる外国人は、どこの国の人が多いですか？

- ①ベトナム ②ブラジル ③アメリカ

Q3. 日本語教室でベトナム人に何語を使って教えているでしょうか？

- ①英語 ②ベトナム語 ③日本語



答えてくれた人には、世界地図と缶バッジがもらえるよ！





講師：山口 麗さん（天津出身）

開催日：9月28日（木）午後1時半～3時

開催場所：コミュニティプラザ会議室1・2

参加者：25名



- 「中秋」は古代と現代で2つある。1つは昼と夜の長さが等しい24節気の中秋。（今年は9/23）もう1つは民間の「中秋節」である旧暦8/15。（今年は9/29）
- 月餅は約1200年前（宋の時代、日本の平安時代）にできた。当時は蒸した物。中秋節で食べるようになったのは約600年前（明の時代）から。当時は60cmほどの大きさ。
- 近代の月餅は北方と南方で特色があり、地方により形や中身が違う。
- 中国古代文化の由来：「皇帝」という言葉は「三皇五帝」という言葉から造語された。

参加者の感想

- 日本は中国から漢字など文化が伝わって影響を受けた国でもあり、古来からの節句祭りなど人としての営みに共通のものがあ親しみを覚えます。
- 中国の行事 etc、興味深い話が聞けてよかったです。月餅、プーアル茶、おいしかったです！
- 皇帝の単語の由来がおもしろかったです。
- 月餅のみならず、中国の漢字文化についても、もっと知りたいと思いました。
- 炎黃子孫や三皇五帝の話が難しかった。月餅の由来が興味深かった。

日本語サロン報告

● 10月12日に日本語サロンでクッキングイベントを開催しました。中国人の学習者とそのご主人が、故郷の味・水餃子を教えてくださいました。焼き餃子と違い、皮が厚めでモチモチとして、中国の黒酢のタレともよく合いとてもおいしかったです。みんなの笑顔あふれるいいイベントになりました。参加者：10名（うち学習者3名、中国・韓国）（西浦）



● 先生方や生徒さんと一緒に餃子を作るイベントに参加できて光栄です！餃子を作る過程で、みんなが積極的に関わったり、協力し合ったりして、最後にはみんなで美味しい餃子を食べました。皆さんの努力に感謝します！この経験を通して、皆さんはおいしい餃子の作り方を学んだだけでなく、中華文化の素晴らしさを深く感じる事ができました。今後の学習において、交流を深め、より多くの新しい知識や技能を探求し、学び続けることを願っています！（王遥）



フィリピンならではの故人への思いやり

ペンネーム：がまいました



陽気な国・フィリピンは、葬儀も明るくにぎやかに執り行われます。服装はTシャツやサンダルなど様々で、集まった親族や知人同士でわいわいおしゃべりしながらの食事会も行われます。その中でも大きな特徴は、葬儀中にギャンブルを行う文化。私がフィリピンに行ったときは、チャペルで死者を囲みながら、右を向けば麻雀をし、左を向けば闘鶏を、朝から晩まで行っていました。それが1週間以上も続くのです。実はフィリピンではギャンブルは禁止行為。ですが葬儀の間だけは「故人への寂しさや悲しみを忘れるために」「ギャンブルで勝ったお金を葬儀

費用に充てるために」という理由から、合法的に認められることがあります。理由を聞くと、フィリピン人の、故人への敬意の表し方だというのが分かりますね。日本では、厳かな雰囲気の中で執り行われる葬儀が主流なのでとてもユニークな文化に感じます。ですが「故人を思いやる」という点は、日本の葬儀も、フィリピンの葬儀も共通していることだと言えますね。

『マイクロアグレッション (Microaggression)』聞いたことありますか？

摂津市在日外国人教育推進協議会 副会長（摂津市立第四中学校長） 荒木 智雄

皆さんは「マイクロアグレッション」という言葉を聞いたことがありますか？和訳すると「とても小さな攻撃」という意味です。在日の外国人をはじめ、社会のマイノリティー（少数派）の人間が、何気ない日常生活の中でよくこの攻撃を受けてしまいます。

たとえば日常生活の中で、外国ルーツと思しき人物が、流ちょうな日本語を話していると、「日本語お上手ですね」と言葉をかけませんか？「誉め言葉」のつもりです。来日間もない人なら喜んでくれるでしょう。しかし、その人が子どものころから日本で長く暮らしていたり、日本生まれの日本育ちだったらどうでしょうか。日本語が上手く話せるのは、その人にとっては当たり前のことです。ましてや、日本生まれの日本国籍で、当の本人が「自分は日本人だ」と思っていたら…

自分のことが理解されていない、見た目で見え方を偏見を持たれている、そんなモヤモヤした感情を抱いてしまいます。「マイクロアグレッション」は言った本人に悪意がなく無意識であったり、時には善意で接したつもりなのに攻撃してしまっているということがあるので、その構造を社会全体で理解しておく必要があります。

たとえば、「ブラジル人なんだからサッカーが上手いだろう」と言われたブラジルの人が絶対にサッカーが上手いとは限らないし、好きかどうか個人次第です。ところが「いや、サッカーは好きじゃない」と答えると、「え？ブラジル人なのに…」とでも言いたげなひどくがっかりした顔をされたりして、自分が悪いことでもしたように傷つきます。サッカーが得意でも好きでもない人が、頭からサッカーが好きに決まっているという扱いをされることは、あたかも人格を否定されているような気になりませんか？このように「〇〇人＝〇〇」と一面的に決めつけてしまう「ステレオタイプ (Stereotype)」なものの見方が、時に人を傷つけます。

仕事の接待で、「大阪の人間なんだから、ここで一席みんなを笑わせてくれ」と言われて、出来る人もいるでしょうが、閉口してしまう人多数でしょう。一つひとつの出来事は、ほんの些細な事でも、これが頻繁に、連続して行われると、受ける心理的なダメージは積み重なって、「自分は一体何者なんだ！」と自尊感情が下がったりして、大きな攻撃となるのです。

「やっぱりB型やな」とか「さすがゆとり世代やな」など、人の属性や特性をもとに先入観や固定観念で決めつけてしまう「ステレオタイプ」なものの見方や、みんな

がやってるからいいだろうというような「同調性バイアス」、まさかうちではそんなことはないだろうという「正常性バイアス」等をまとめて、『アンコンシャス・バイアス (Unconscious bias)』と言います。「無意識の偏った見方」という意味です。この「アンコンシャス・バイアス」が「マイクロアグレッション」を生む主要因となっています。

実は「アンコンシャス・バイアス」というのは、人間の脳が元々持っている能力の一つで、すべてが一概に悪いということではありません。情報を素早く処理したり、長年の文化・習慣からその集団共通のコミュニケーションを形成したり、時には笑いを生んで、人間関係を作る入り口の挨拶代わりになったりします。だから、ここまで読んで「じゃあどうしたらええねん？」「そこまで気使ってられへんわ」と感じる方もおられると思います。

まずは、国際交流に限らず、「世の中にはいろんな人がいる」「みんな違って、みんないい」という人権社会の基本を忘れないことです。そして、「アンコンシャス・バイアス」が自分の中にもあるかもしれないと自覚することです。それから「嫌な時は嫌と言っていい」「嫌と言われたらその思いを受け止める」という互いの気持ちを聞き合う習慣を広げ、集団の中でも個人が尊重される社会を形成していくことが、外国人に限らず誰もが暮らしやすい社会につながっていくのだと思います。

最近、「外人」という言い方はしなくなりましたよね？少数派排除の蔑称との認識が広がったことと、また悪意はなくても、一緒に暮らしているのに「外の人」っておかしくない？という認識が社会全体に共有されたからだと思います。見た目が多数派と違えば、ぱっと目に入った時に違和感を覚えるのは本能ですが、「ん？」と立ち止まって、その人のことを理解しようという気持ちを大切にしていきたいですね。

摂津市在日外国人教育推進協議会（市外教）は、そのようなボーダーレスで一人ひとりの個性を大切にする社会を目指して活動しています。



参考文献：大阪府教育センター「人権教育リーフレットシリーズ」
↑ネットで検索してみてください。

摂津市国際交流協会

〒566-0021 摂津市南千里丘 5-35

摂津市立コミュニティプラザ 2F

TEL : 06-6319-6251 FAX : 06-6318-6004

Email : office@settsu-saie.org

URL : http://settsu-saie.org

開室時刻：平日 9:30～12:00、13:00～16:30

(休館：第4水曜日)

会員募集

●年会費：個人：3,000円 / 家族：5,000円

青少年：1,000円 / 法人・団体：10,000円（1口）

●当協会の事業に無料または割引での参加特典がございます。

●「かわら版」のお届けと催事参加申込みなども優先的に受け付けます。



LINE 公式アカウント

アカウント名：
摂津市国際交流協会
ID : @462xxegy